

署名にご協力を!

みんなの声で 保育の改善を!

保育・学童保育の充実を求める声が
あったからこそ、保育制度は発展してきました。
しかし、質の向上などまだ課題はたくさんあります。
子どもの権利を守り、発展させるために、
今こそ予算を重点的に投入して、国と自治体の責任で
保育・学童保育の充実を求めましょう。
国民の願いを具体的に国に示すために、
この署名にご協力ください。



保育は、
いまど
みらいを
支えて
いる。

保育士が足りない！保育現場に余裕がない！

深刻な保育士不足の背景には、賃金の低さや余裕のない保育現場があります。

保育士の賃金は少しずつ改善されてきましたが、依然、全産業平均と比較して約10万円の開きがあります。

新制度になって、3歳児15人に保育士1名を配置すると加算されるようになりましたが、基準自体はほとんど改善されていません。

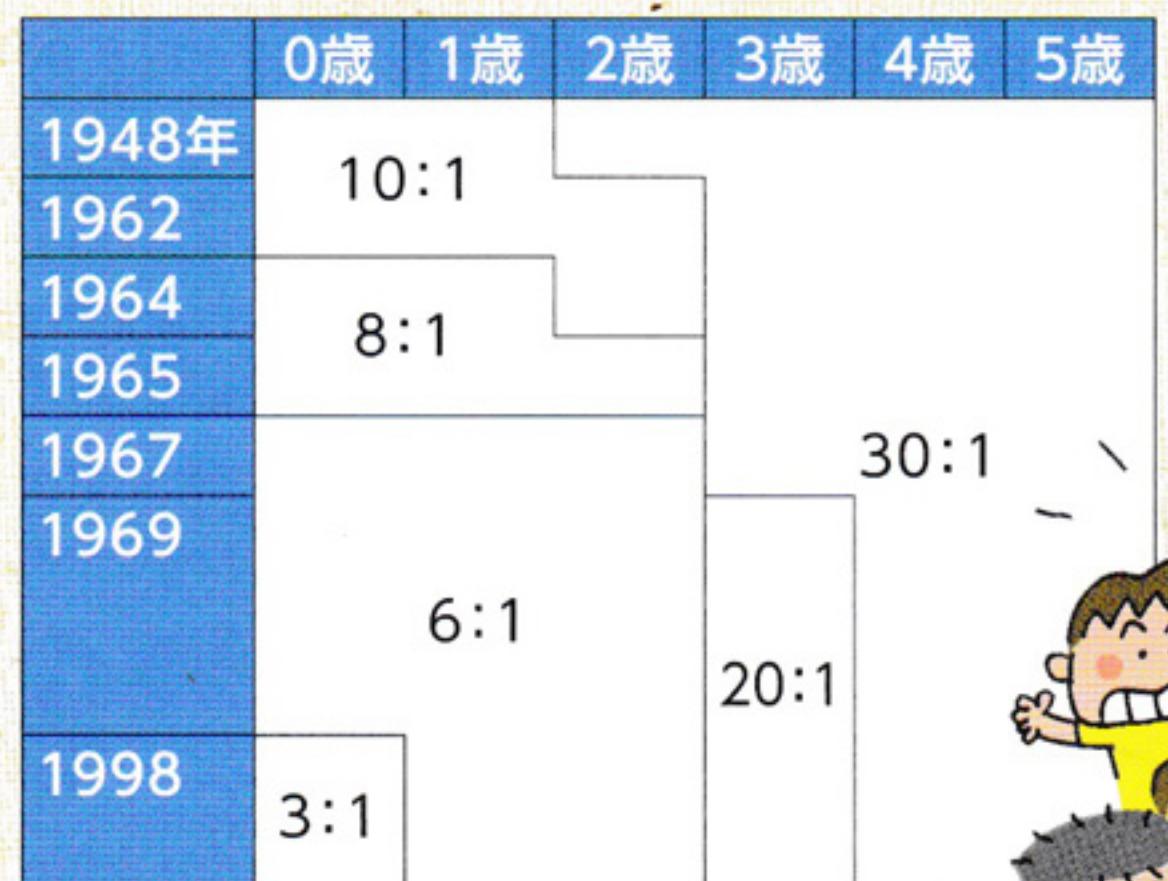
業務も開所日数・時間も増えているのに、職員配置は増えていません。また、プールの監視員など、安全確保のためには人員が必要ですが、そうした人員は見込まれていません。

保育士の賃金～全産業平均との比較～



厚生労働省「賃金構造基本統計調査2017年」より作成

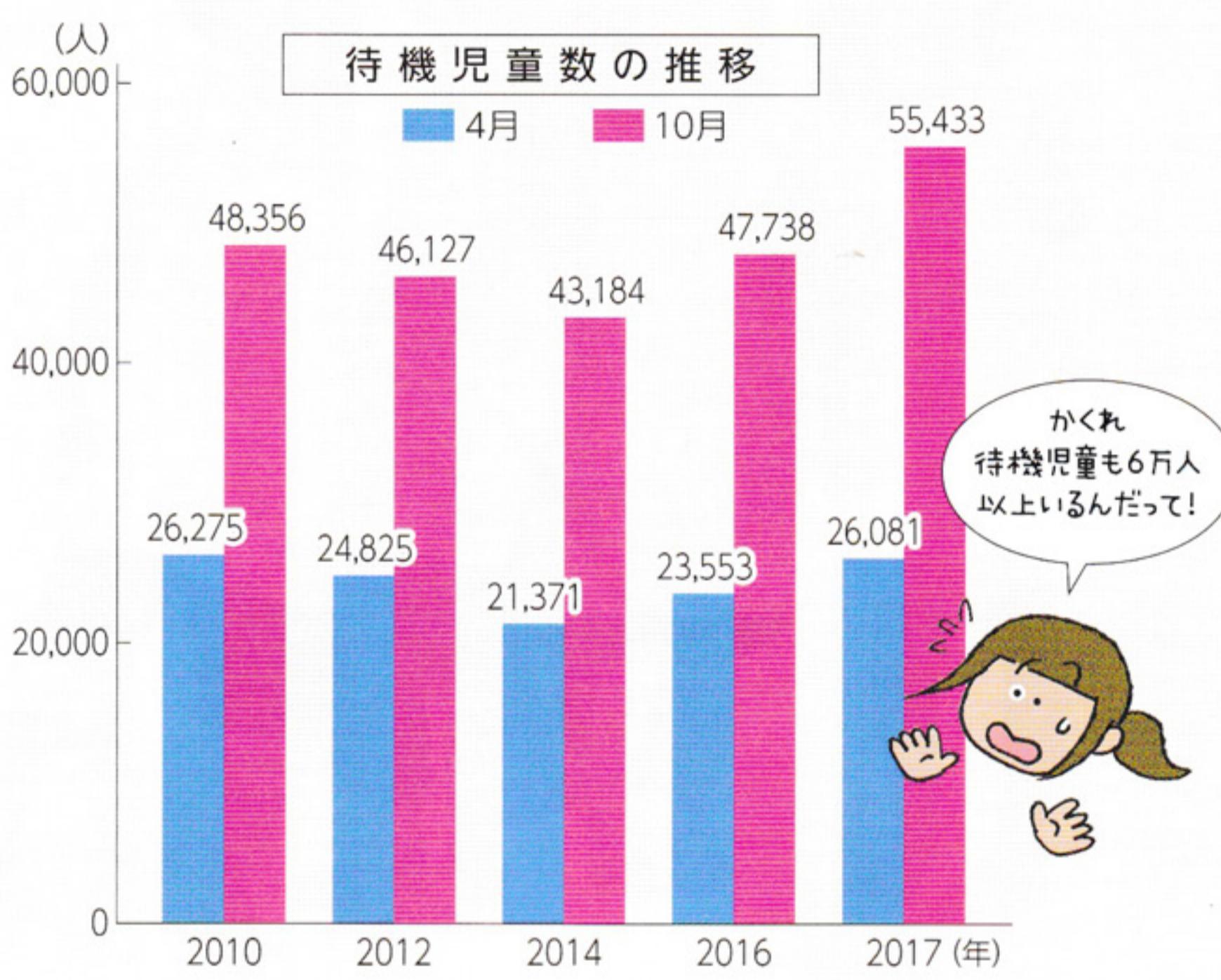
●保育所最低基準改善状況(職員配置)



賃金アップと増員で、
安心・安全な質の高い
保育を実現しよう！

希望する保育園に入れない！

待機児童問題が深刻化してから20年、国は、基準の切り下げによる保育室へのつめこみや、無資格者の活用など、保育の質を軽視した待機児童対策をすすめてきました。



厚生労働省保育課「保育所等待機児童数調査」より作成

子どもの安全をおびやかす規制緩和ばかりがすすむ！

待機児童対策を口実に、子どもの権利や安全を脅かす規制緩和ばかりがすすんでいます。

1998 定員超過入所の上限緩和

2003 防火・避難基準を緩和

2010 3歳以上児の給食外部搬入認める

2014 保育室の避難用外階段設置の緩和

2015 新制度で保育所基準以下の地域型保育事業など創設

2017 保育室の採光基準緩和

子どもの健全な発達が保障できないよな。

基準の改善どころか改悪だよ。

学童保育の基準緩和も提案されているよ。

保育・学童保育の基準は
切り下げる改善を!
待機児童対策は質の確保された
安心・安全な施設で!

「無償化」は限定的

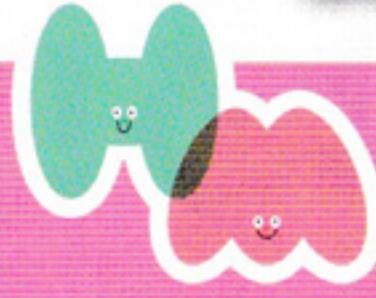


政府は、幼児教育・保育の無償化を方針化しました。保護者負担軽減を訴え続けてきた保育運動の成果といえます。しかし、無償化といっても0～2歳児は住民税非課税世帯に限られるなど、すべての負担がゼロになるわけではありません。また、条件改善や待機児童対策などが遅れることが心配されています。

すべての子どもに等しく
質の高い保育を保障できるような
無償化を求めよう！



ほいくしを、もっと。ほいくしょを、もっと。



このプロジェクトは、子どものいまと未来を支える大切な保育を、もっとよくしていくための署名運動を中心としたとりくみです。

よりよい保育を! 実行委員会

連絡先：全国保育団体連絡会
〒162-0837 東京都新宿区新宿2-26-3 TEL03-6265-3171